

オリエンタル系ユリの高温期定植作型における ヒートポンプエアコンによる夜冷栽培の実用性

松木尚志・二宮千登志・松岡達憲・浜渦敬三・門田大志

Effects of planting time and night temperature by cooling on quality
of cutflower of Lilium

Hisashi MATSUGI, Chitoshi NINOMIYA, Tatsunori MATSUOKA, Keizo HAMAUZU
and Taishi KADOTA

要 約

オリエンタル系ユリのヒートポンプエアコンを用いた夜冷栽培の実用性について検討し、定植日および主要品種ごとの最適な夜冷温度、夜冷時間帯および必要なコストを明らかにした。

1. 8月16日に定植し22℃で夜冷を行う場合18:00～6:00を夜冷すると、21:00～6:00を夜冷するより、電気代は多くなるものの、サイドの自動開閉設備等の減価償却費が不要であるため、合計の経費が少なくなる。

2. 21:00～6:00または18:00～6:00を22℃で夜冷を行う場合、9月1日以前の定植で、夜冷時間帯にかかわらず慣行区より草丈が長くなることで品質が向上し、草丈には夜冷時間帯による差がなかった。

3. 18:00～6:00を19℃で夜冷した場合、8月16日～9月1日の定植では、いずれの品種でも22℃の夜冷に比べ草丈が長くなり、9月14日の定植でも、‘シベリア’、‘ソルボンヌ’で22℃の夜冷より草丈の長い株が多かった。

4. 夜冷に必要な電気料金（基本料金をのぞく）は、8月16日定植し19℃で夜冷を行った場合に最大で10aあたり144,650円であった。

キーワード：オリエンタル系ユリ，ヒートポンプエアコン，夜冷，草丈，電気料金